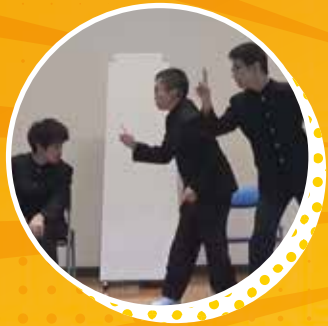
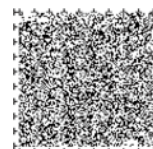


▼目の不自由な方のための音声コード



元気! 勇気! 本気!

だい かい 第8回

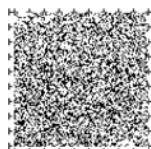
ぜん こく こう こう せい 全国高校生

しゅ わ 手話パフォーマンス甲子園 こう し えん

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

実績報告書

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



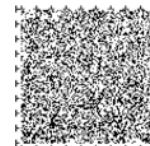
もくじ 目次

・ 開催概要	03
・ 大会スケジュール	04
・ 開会式	06
・ 出演者紹介/早瀬さんからのメッセージ	11
・ 表彰結果	12
・ 表彰内容	14
・ カウントダウン	15
・ チーム演技	16
・ 郷土芸能ステージ	23
・ バリアフリー対策	24
・ 新型コロナウイルス感染症対策	25
・ 閉会式	26
・ 交流会	28
・ 予選審査会	30
・ 広報	32
・ 本大会審査実施要領	34
・ 手話パフォーマンス甲子園実行委員会	35



記載されたQRコード
を読み取ると「手話パ
フォーマンス甲子園
☆動画チャンネル」で
動画を視聴するこ
とができます。





かい さい がい よう 開催概要

本大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、Web開催とし、ライブ配信を行いました。

●^{もくてき} 目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

●^{にちじ} 日時

令和3年10月3日(日) 9:30~14:30

●^{かいじょう} 会場

米子コンベンションセンター
(鳥取県米子市末広町 294)

●^{かいさいほうほう} 開催方法

Web開催

- ・会場の様子は、YouTubeでライブ配信を行いました。(音声ガイドありなしの2種類を用意し配信。)
- ・挨拶、出場チームの演技は、事前に収録した映像を上映、配信しました。
- ・会場への来場は、県内の出場チームおよび関係者のみとし、県外の出場チームについては、会場には来場せずテレビ会議システムを使っての参加としました。

●^{しちようかいすう} 視聴回数

計11,666回
(音声ガイドなし 9,389回 音声ガイドあり 2,277回)

●^{しゅさい} 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●^{きょうさい} 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

●^{とくべつきょうりよく} 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

●^{とくべつきょうさん} 特別協賛

日本財団

●^{しゅつじょう} 出場チーム

15チーム(16校)

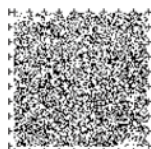
※令和3年5月17日(月)から7月2日(金)まで参加チームを募集したところ、27都道府県から53チーム(54校)の参加申込みがありました。7月29日(木)及び30日(金)に審査員4名がビデオ視聴による審査結果についての審議を行い、地方ブロック枠6チーム、得点順枠7チーム、合同チーム枠1チーム、初出場枠1チームの計15チームを選出しました。

● おことば

佳子内親王殿下から映像でおことばを賜りました。

●^{こうこうせい たいかい} 高校生による大会づくり

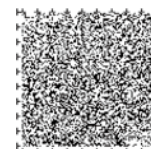
演技司会、大会PRなどに多くの高校生が携わりました。



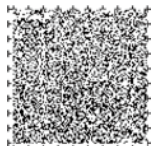
たい かい 大会スケジュール

時刻	内容
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・おことば ・特別協力団体あいさつ ・特別協賛団体あいさつ ・出場チーム紹介 ・選手宣誓 <p>出場チームによるカウントダウン</p> <p>審査員紹介 審査方法紹介</p> <p>早瀬憲太郎さんからのメッセージ</p>
10:00～	<p>出場チームによるパフォーマンス(前半8チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 金沢北陵高等学校(石川県) 2 済美高等学校・松山聾学校(愛媛県) 3 田鶴浜高等学校(石川県) 4 鳥取聾学校(鳥取県) 5 境港総合技術高等学校(鳥取県) 6 桜花学園高等学校(愛知県) 7 熊本聾学校(熊本県) 8 明誠学院高等学校(岡山県) <p>※前半最後に放映予定だった 明誠学院高等学校(岡山県)の パフォーマンス映像は、 配信に不具合があり、改めて、 後半冒頭に放映しました。</p>
11:40～	休憩





時刻	内容
12:30～	<p>出場チームによるパフォーマンス(後半7チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 真和志高等学校(沖縄県) 10 杏和高等学校(愛知県) 11 坂戸ろう学園(埼玉県) 12 奈良県立ろう学校(奈良県) 13 青森聾学校(青森県) 14 鳥取城北高等学校(鳥取県) 15 横浜南陵高等学校(神奈川県) 
13:50～	<p>日野高等学校(鳥取県)による 郷土芸能「荒神神楽」</p> 
14:00～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県聴覚障害者協会賞 ・日本財団賞 ・全日本ろうあ連盟賞 ・審査員特別賞 ・第3位 ・準優勝 ・優勝 ・手話パフォーマンス奨励賞 <p>審査員長講評 閉会あいさつ エンディング</p>  
14:30	閉会



かい かい しき
開会式

しゅ さい しゃ
主催者あいさつ

ひら い しん じ
手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 **平井 伸治**



皆さま、おはようございます。鳥取県知事の平井と申します。よろしくお願い申し上げます。

本日は佳子内親王殿下のご覧をいただき、第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が開催出来ますことを誠に喜びに耐えられません。ありがとうございます。

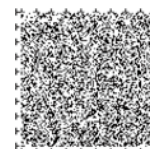
また、全国各地から学校の代表としてお集まりをいただき、ご参画をいただきました。本当に感謝を申し上げますし、日本財団 尾形理事長様、全日本ろうあ連盟 石野理事長様はじめ、数多くの皆さまのご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

鳥取におきましては、様々な名所があります。たとえば、「鬼太郎の街・境港」「皆生温泉」そして「大山」という美しい山もあります。実は鳥取県は「日本刀」のふるさとなんです。「安綱」という名工がいました。「日本刀」の原型を作った人なんです。今「鬼滅の刃」が有名ですよ。ぜひ、皆さんも「刃」を抜いて頑張ってください。

優勝目指して頑張っていたいただきたいと思いますが、鳥取は「刀のふるさと」でありますので、皆さんは今日「勝ったな」。

ありがとうございました。頑張ってください。





か こ ないしんのうでん か

佳子内親王殿下おことば

本日、「第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が、昨年に引き続きオンラインで開催されます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、様々な工夫を凝らし、本大会の開催に向けて尽力してこられた皆様に、心から敬意を表します。

今年は、昨年を大きく上回る53チームが予選に参加しました。厳しい予選を通過し、本戦出場を決められた15チームの皆様、おめでとうございます。

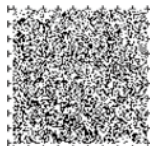
昨年以降、新型コロナウイルス感染症の影響がある中での練習には、難しいこともあったと思います。そのような中でも、仲間で話し合い、何ができるか考え、力を合わせて準備をしてきたのではないのでしょうか。本大会の資料で、各チームの思い、伝えたいテーマ、見所などを読み、どのような舞台ができ上がったのかを想像してまいりました。この後、動画で発表されるパフォーマンスを楽しみにしております。皆様の熱意や努力の成果が存分に発揮されていることと思います。

鳥取県では、手話言語の普及に向けた取組が活発に行われています。「あいサポート運動」という、様々な障がい者を正しく理解し必要な配慮をするための活動も、鳥取県で始まったものです。こうした活動が、全国のいろいろな地域で行われていることを心強く感じます。今年の7月からは、全国で、公共インフラとしての電話リレーサービスがスタートしました。通訳オペレータを通して、きこえない人、きこえにくい人、発話に困難のある人の手話言語や文字と、きこえる人の音声をもつても伝えあうことができ、また、緊急通報もできます。



様々な取組やこの大会を通して、大切な言葉である手話言語と、きこえない人、きこえにくい人などに対する理解がより一層深まることを、そして、誰もが安心して暮らすことのできる社会が実現していくことを願います。

終わりに、今年の大会が皆様にとって大切な思い出になるとともに、本大会の素晴らしい舞台がオンラインで多くの人に楽しまれますことを願い、開会式に寄せる言葉といたします。



かい かい しき
開会式

とく べつきょうりよく だん たい

特別協力団体あいさつ

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長

いし の ふ じ さぶ ろう
石野 富志三郎



「第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が、関係者のみなさまのご尽力により開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらないため、今年もオンラインの開催となり、出場者のみなさんと対面でお会いすることができず、大変残念に思います。

みなさんも出場することが決まっても、外出がままならず思うように練習することができなかつたと思います。そのような中で、この大会に出場したいという強い思いを持ち、厳しい状況乗り越えて、この場に参加されたみなさんに心から敬意を表します。

今夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。テレビでオリンピック開会式をご覧になられた方は多いと思いますが、残念ながら開会式の放送では、その内容を理解するために必要な手話言語通訳が付与されませんでした。

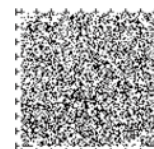
東京2020オリンピック・パラリンピックは「多様性と調和」を掲げています。私たちは当然、テレビ放送で手話言語通訳が付与されるものと思い、放送キャスターの解説や実況を楽しみにしていました。その放送に手話言語通訳がつかなかったことに非常に落胆しました。全国の仲間からも落胆の声と意見をたくさんいただきました。私たち

はその声を受けて、国や放送局に強く要望しました。

その結果、オリンピックの開会式やパラリンピックの開会式のテレビ放送に手話言語通訳が付与されました。テレビ放送の歴史において画期的なことです。誰一人取り残さない、また放送における多様性と調和の形を実現した放送局に拍手を送りたいと思います。この挑戦の精神は、ここに参加されたみなさまに通じるところがあると思います。

みなさんは、厳しい状況の中であって、自分自身やチームの目標を掲げ、それに向けて毎日、ひたむきに努力し、さらなる高みへの挑戦を繰り返されてきて、この大会に参加されました。今日はその成果を示す機会です。みなさまの元気溢れるパフォーマンスを見られることを私は非常に楽しみにしています。

最後になりましたが、このコロナ感染が拡大する中において、この高校生手話パフォーマンスへの参加を目指された全国の高校生たちのために、そして出場を勝ちとった高校生のために、本大会の開催に日夜ご尽力されました鳥取県をはじめ、実行委員会、関係者のみなさまにお礼を申し上げ、私のごあいさつといたします。



とく べつきょうさん だん たい

特別協賛団体あいさつ

お が た た け じ ゅ
公益財団法人日本財団 理事長 尾形 武寿



皆さんこんにちは、日本財団の尾形です。

手話パフォーマンス甲子園第8回大会の開催おめでとうございます。

今年も皆さんの顔や演技を直接見る事が出来ず残念です。今年にはオリンピックとパラリンピック東京2020が開催されました。コロナ禍の中、問題は沢山ありましたが、無事に閉会式を迎える事が出来ました。連日アスリートの活躍に日本中が大いに沸き上がり、興奮のつぼと成った事は皆さんの記憶にも残っていると思います。

今年ほど多様性の重要性を国民が共に考えた年はありません。

この大会は、障がいのある人もない人も共に生きる社会の大切さを知る大会でもありました。

私たち日本財団では、「障がいのある人もない人も共に生きる、皆が皆を支える社会」の構築を目指しています。

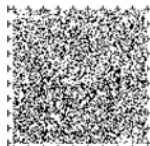
手話パフォーマンス甲子園もこのイベントを通じて多くの人々が手話に慣れ親しみ、耳の聞こえる人も聞こえない人も共に生活できる社会の実現に寄与できることを期待しております。

日頃の練習の成果を力いっぱい表現してください。

皆さん、社会を変える事が出来るのは若い皆さんだけです。

さあ頑張ろう、自分の為に、チームの為に、他人のために、そして社会のために。





かい かい しき 開会式

せんしゅ せんせい 選手宣誓

あさ い まな か
済美高等学校(愛媛県) 浅井 愛翔
おお り きよ と
松山聾学校(愛媛県) 大利 心澄

宣誓

私達は手話の聖地、鳥取県で開催される「第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」に出場できることを誇りに思います。

コロナ禍で、様々な苦悩に直面したチームもあったと思います。そのような中、一人一人がパフォーマンスや手話言語と懸命に向き合い、同じ志をもつ仲間とつながりを深めようと努力を重ねてきました。

厳しい状況下にも関わらず、大会を開催していただけること、私達を支えてくださるすべての皆様に感謝いたします。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手の皆さんの活躍が、世界中を湧かせ、大きな感動と勇気を与えてくれました。

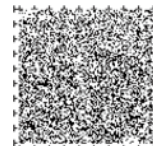
次は私たちの番です。今年も皆さんとは遠く離れたリモート開催となりますが、手話という一つの言語を大切に、皆さんに笑顔を届けられるよう、全力でパフォーマンスすることをここに誓います。



令和3年10月3日

済美高等学校 浅井 愛翔

松山聾学校 大利 心澄



出演者紹介

演技司会者



いざわ ここみ
伊澤 心美さん
米子高等学校1年。
放送部、JRC部所属。



こばやし みく
小林 未空さん
米子高等学校2年。
放送部、演劇部所属。

総合司会者



ほらだ ひろかず
原田 裕和さん
NHK鳥取放送局
チーフアナウンサー。

審査員



しょうぎ たかし
庄崎 隆志さん
演出家・俳優
審査員長



おおたけ こうじ
大竹 浩司さん
一般財団法人
全日本ろうあ連盟
副理事長



か ず き
KAZUKIさん
サインパフォーマー



かど ひでひこ
門 秀彦さん
絵かき



めい み
メイミさん
NPO法人 笑顔工場
理事長



たなか だいすけ
田中 大介さん
鳥取大学
地域学部 准教授

早瀬 憲太郎さんからのメッセージ

皆さん、こんにちは。私の名前は早瀬憲太郎です。
私は手話パフォーマンス甲子園は、最初の1回目からずっと司会を
務めさせていただいています。その間 たくさんの高校生たちと出
会ってきました。第1回の高校生たちの演技にはとても感動しまし
た。

そして 次の後輩たちが先輩たちに憧れて、自分たちも頑張っ
て素晴らしい演技をしてきました。さらにまた、次の後輩たちが同じ
ように憧れ、演技を頑張るといったように代々受け継がれてきまし
た。

こうして今 皆さんが全国各地からこの手話パフォーマンス甲子
園の場に集まり、演技をすることが出来るのはとても素晴らしいこ
とです。

ここで 私から皆さんに 贈りたい言葉があります。この言葉は
私が高校生の時から好きで、ずっと大事にしていました。その言葉
をご紹介します。

自分の人生の中で岐路に立った時、「出来るか／出来ないか」
で迷うのではなく、「やりたいか／やりたくないか」を自分の心に問
うてください。それがやりたいのなら それに決めて貫き通してくだ
さい。

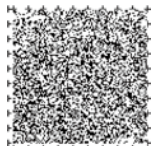


<第1回大会から第6回大会まで
演技司会を務めていただいた早瀬氏>

もし、前を阻まれても必ず助けてくれる。応援して
くれる人が出てくれます。そうして 自分の道をまっす
ぐ歩くことが出来ます。

人生に迷った時は「出来る／出来ない」ではなく
「やりたい／やりたくない」。これを自分の心の「やり
たい」を大切に皆さん頑張ってください。
いつかどこかで会った時には、ぜひ話しかけてくだ
さい。

また会いましょうどうぞ よろしくお願ひします。



ひょう しょう けつ か 表彰結果

ゆうしょう

優勝

奈良県立ろう学校(奈良県)

- 演技タイトル / 「空も飛べるはず」
- 演技内容 / 演劇
- 審査得点 / 285点
- 演技順 / 12



じゅんゆうしょう

準優勝

坂戸ろう学園(埼玉県)

- 演技タイトル / 「ド・レペの小さな学校 ～永遠に紡ぐ～」
- 演技内容 / 演劇・ポエム
- 審査得点 / 280点
- 演技順 / 11



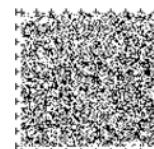
だい い

第3位

横浜南陵高等学校(神奈川県)

- 演技タイトル / 「新しい世界へ」
- 演技内容 / 歌唱・演劇
- 審査得点 / 267点
- 演技順 / 15





しん さ いん とく べつしやう

● 審査員特別賞

青森聾学校(青森県)

- 演技タイトル / 「青盛りだくさん方言～手話で解決～」
- 演技内容 / 演劇・コント
- 演技順 / 13



ぜん に ほん れんめいしやう

● 全日本ろうあ連盟賞

鳥取聾学校(鳥取県)

- 演技タイトル / 「～共に～」
- 演技内容 / 歌唱・演劇
- 演技順 / 4



にっぽんざい だんしやう

● 日本財団賞

境港総合技術高等学校(鳥取県)

- 演技タイトル / 「笑顔で2時50分!!」
- 演技内容 / 歌唱・演劇・その他
- 演技順 / 5



とつ とり けんちやうかくしやうがい しゃきやうかいしやう

● 鳥取県聴覚障害者協会賞

杏和高等学校(愛知県)

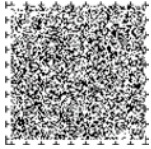
- 演技タイトル / 「『食べる・食べられる ～自然共生社会を目指して～』
(注文の多い料理店より)」
- 演技内容 / 演劇
- 演技順 / 10



しゅ わ しやうれいしやう

● 手話パフォーマンス奨励賞

金沢北陵高等学校、済美高等学校・松山聾学校、田鶴浜高等学校、桜花学園高等学校、熊本聾学校、明誠学院高等学校、真和志高等学校、鳥取城北高等学校に手話パフォーマンス奨励賞を授与しました。



ひょう しょう ない よう 表彰内容

しょうじょう 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

ゆうしょう き 優勝旗



たて 盾



優勝



準優勝



第3位



手話パフォーマンス
奨励賞

優勝、準優勝、第3位、手話パフォーマンス奨励賞

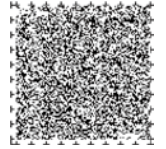
メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(鳥取砂丘にちなみ“砂のメダル”を授与)

ふくしょう 副賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞受賞チームそれぞれに副賞が贈られました。



カウントダウン

演技開始を出場チームによるカウントダウンでスタートしました。



15 金沢北陵高等学校
(石川県)



14 済美高等学校・松山聾学校
(愛媛県)



13 田鶴浜高等学校
(石川県)



12 鳥取聾学校
(鳥取県)



11 境港総合技術高等学校
(鳥取県)



10 桜花学園高等学校
(愛知県)



9 熊本聾学校
(熊本県)



8 明誠学院高等学校
(岡山県)



7 真和志高等学校
(沖縄県)



6 杏和高等学校
(愛知県)



5 坂戸ろう学園
(埼玉県)



4 奈良県立ろう学校
(奈良県)



3 青森聾学校
(青森県)



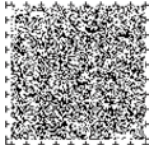
2 鳥取城北高等学校
(鳥取県)



1 横浜南陵高等学校
(神奈川県)



スタート



チーム演技

01

金沢北陵高等学校(石川県)

初出場

■演技タイトル／

雨上がりの空の下で

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／5人

▼動画はこちら



02

济美高等学校(愛媛県) 4回目 ・ 松山聾学校(愛媛県) 3回目

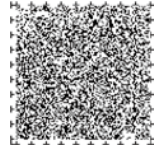
■演技タイトル／

ふるさと

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／15人

▼動画はこちら





03 た つる はま こう とう がっ こう
田鶴浜高等学校(石川県)

8回目

■演技タイトル／

自分らしく 誇り高く

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／6人

▼動画はこちら



04 とっ とり ろう がっ こう
鳥取聾学校(鳥取県)

5回目

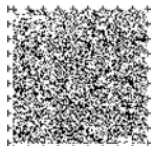
■演技タイトル／

～共に～

■演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／4人

▼動画はこちら





チーム演技

05

境港総合技術高等学校(鳥取県)

6回目

■演技タイトル／
笑顔で2時50分!!

■演技内容／歌唱・演劇・その他 ■メンバー人数／14人

▼動画はこちら



06

桜花学園高等学校(愛知県)

2回目

■演技タイトル／
最初に夜をてばなした

■演技内容／ダンス・演劇 ■メンバー人数／6人

▼動画はこちら

